

『竹林整備作業施設の概要』

【目的】

伐採した竹や落葉を効率的に処理するために、真空乾燥機にて乾燥させた生成品を園内で有効活用することにより、処理費用の削減や環境負荷を軽減し資源の循環を促進することを目的としています。

【施設概要】

建物構造： 鉄骨造、平屋建て（建築面積 16m × 11m、床面積 15m × 10m）

用 途： 作業場、倉庫

施 設： 乾燥作業場（真空乾燥システム）

竹・落葉集積ヤード、移動式破碎機

※真空乾燥システムとは、真空乾燥機、循環水槽及び循環ポンプ等で構成される装置の総称になります。

外 壁： 園内から調達した竹を用いて装飾

完 成： 2025 年 11 月 17 日

【真空乾燥システムの能力】

乾燥前含水比（85%） ⇒ 乾燥後含水比（10%以下）

10 時間乾燥した場合、原料 150kg ⇒ 乾燥物 34kg になる。

【平面図】



【完成写真】



【作業概要】

